



イタチハギ

(*Amorpha fruticosa*)

～要注意外来生物～

原産地と分布

北アメリカ南部からメキシコ原産

定着実績

1912年に導入されたといわれるが、本格的な導入は1940年代以降。砂防、護岸、防風、緑化、生垣、飼料、観賞用として韓国等から導入され、全国に分布。

被害をもたらす要因

温帯に分布。荒地、路傍、崩壊地、土手、河川敷、海岸などに生育。生長が速く、耐暑性、耐乾性、耐陰性がある。開花期は4～7月。両性花。虫媒花。豆果をつける。

特 徴

マメ科の夏緑低木で、高さ1～5mになる。本種以外に野生化の報告はない。葉だけの時は、ハリエンジュやクララなどと間違われることがあるが、葉の下面に腺点があることで区別できる。

5月

3日－憲法記念日 4日－みどりの日 5日－こどもの日 6日－振替休日

2014年
平成26年

木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html